

2026 年 4 月入学

佐賀大学大学院
第 2 次学生募集要項

理工学研究科（博士前期課程）

A O 入 試
社 会 人 特 別 入 試

選抜種別	入学時期	出願期間	試験日	合格者発表日	入学手続期間
AO 入試	2026 年 4 月	2025 年 11 月 12 日（水） ～11 月 19 日（水）	2025 年 12 月 24 日（水）	2026 年 1 月 15 日（木）	2026 年 3 月 22 日（日） ～3 月 27 日（金）
社会人特別入試					

佐賀大学

目 次

I	入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	1
II	AO 入試	6
III	社会人特別入試	11
IV	入学手続等	16
V	入学志願票等の記入上の注意及び記入例	19
VI	教育研究分野等	22
VII	取得できる教育職員免許	23
VIII	佐賀大学建物配置図及び佐賀大学へのアクセスマップ	24

個人情報の取扱いについて

佐賀大学は、「個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人佐賀大学個人情報保護規則」等に基づき、本学が保有する個人情報の適正な管理と保護に努めています。本学が入学選抜を通じて取得した個人情報及び入学手続き時に提出していただく書類に記載されているすべての個人情報は、次の業務で利用します。

- (1) 入学選抜・入学手続きに関する業務
- (2) 教務関係（学籍管理、修学指導及び教育課程の改善等）に関する業務
- (3) 学生支援関係（健康管理、入学料免除、授業料免除、入学料徴収猶予、奨学金及び就職支援等）に関する業務
- (4) 入学選抜及び大学教育の改善に関する調査・研究に関する業務（ただし、個人が特定される形で、その成果を公表することはありません。）
- (5) その他個人が特定できない形式で行う統計に関する業務
- (6) (4)及び(5)については、データの電子化、印刷、製本等の業務を業者に委託する場合があります。

なお、本学が取得した個人情報は、法令に基づく場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく上記業務以外での目的で利用又は第三者に提供する事はありません。

佐賀大学大学院への出願方法について

佐賀大学大学院では、PDF フォームを利用した願書の受付けを行っており、募集要項については、原則としてウェブサイトを確認いただいております。

志願者は、出願に必要な書類を電子ファイルとして管理でき、簡単に書類を作成することができます。

●出願までの手順（概略）

- ・ 本学ウェブサイトから PDF フォーム等必要な書類をダウンロードしてパソコンに保存してください。必要な書類については、本要項記載の「出願書類等」のページでご確認ください。
- ・ 志願票・受験票等に必要事項を入力後、印刷してください。
- ・ 検定料は、検定料振込依頼書を印刷し銀行で振込手続を行ってください。
- ・ 印刷した出願用封筒ラベルを市販の角形 2 号（240×332 ミリ）の封筒に貼付し、書類一式を入れて提出してください。なお出願用封筒については、学務部入試課においても配布を行っています。
- ・ 出願書類は手書きでもかまいません。

※ PDF フォームとは、PDF の閲覧に利用する無償の Adobe Reader で直接データを入力できるようにした PDF です。

※ Adobe Reader をお持ちでない方は、最新のプラグインを入手してください。

※ A4 サイズの印刷が可能なプリンタのない方、PDF が表示されない方は学務部入試課へ資料請求してください。

I 入学者受入れの方針（アドミッションポリシー）

※第2次募集では、募集しないコース・入試区分があります。

【1】求める学生像

理工学研究科は、理学及び工学の専門分野における高度な知識と技術、科学的思考や洞察力に基づく問題解決能力、異分野の知識や考え方を含んだ分野の枠を越えた視点及び実践力、さらに、倫理観、知的財産に関する知識を修得した、創造性豊かな優れた研究者や技術者等の高度な人材を養成し、人類の福祉、文化の進展に寄与することを目的とします。本研究科における各教育科目を修得するために必要な素質を元に、以下に示すような次の学生を求めています。

- ① 専門分野に関する基礎学力及び基礎知識を持つ人
- ② 専門分野に関する課題発見・解決能力を養うために必要な思考力・創造力・判断力を持つ人
- ③ 研究者倫理や連携研究に対し積極的に取り組める人
- ④ 異分野にも関心があり、社会貢献や国際交流にも意欲的な人

各コースの求める学生像は以下の通りです。

■ 数学コース

数学分野の真理探究を求める過程で培われた論理的思考能力と獲得した汎用性の高い知識をベースに、幅広い分野において業務を遂行できる高度な人材を養成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 主として大学の専門課程の数学の基礎学力及び専門知識を有し、さらに進んだ数学の理論、応用について学ぶ意欲を持つ人
- ② 数学及び数理科学の分野の高度な専門知識を修得し、論理的思考力、問題解決能力を身につけて、社会への貢献を目指す人
- ③ 数学及び数理科学の分野で、即戦力として活動できる高度な専門的知識・能力を持つ教育者、技術者、研究者を目指す人
- ④ 数学及び数理科学の分野の高度な専門知識を活かし、正確な表現力及びコミュニケーション能力を身につけて、国際的に活躍することを目指す人

■ データサイエンスコース

数学やコンピュータに関する知識と応用力を有し、多種多様なデータおよびその利活用に取り組む現場の状況を理解した上で、データから価値のある知見や法則を発見し、それを課題解決に活かす能力を備えた高度な人材を養成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 数学の基礎学力とともに、大学専門課程レベルの数学もしくはコンピュータに関する専門知識を持ち、データサイエンスへの興味やデータから新たな価値を創造する熱意と向上心を持つ人
- ② データサイエンス分野の高度な専門知識を活かして、データに基づく問題解決や意思決定ができる人材育成や社会の構築に貢献しようとする人
- ③ データサイエンスに関する高度な専門知識を修得し、データから新たな価値を見出すことにより、社会に貢献することを目指す人
- ④ データサイエンスを様々な分野の課題解決に活かし、国際的に活躍することを目指す人

■ 知能情報工学コース

情報通信技術（ICT）をベースに、人工知能，IoT，サイバーフィジカル，サイバーセキュリティ等の先端的な情報技術を活用してイノベーションを創出できる高度な人材を養成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① コンピュータをはじめとする高度な技術に対する基礎学力を持つ人
- ② ICT 及び ICT 関連分野の高度な専門知識を活かして、先進情報システムの構築に取り組もうとする人
- ③ ICT 及び ICT 関連分野の高度な専門知識を修得し、高度なソフトウェアの開発を通して社会に貢献しようとする人
- ④ ICT 及び ICT 関連分野の技術交流により国際的に活躍することを目指す人

■ 物理学コース

物理学分野の真理探究を求める過程で培われた論理的思考能力と獲得した汎用性の高い知識をベースに、幅広い分野において業務を遂行できる高度な人材を養成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 大学卒業レベルの物理学の基礎知識を修得しており、より専門的な知識を身につけて、社会への貢献を目指す人
- ② 物理学の習得を通して論理的思考力、問題解決能力を身につけ、新しい分野を切りひらく熱意をもつ人
- ③ 物理学を生かした研究開発に意欲を持ち、科学技術を支える高度専門技術者・研究者を目指す人
- ④ 物理学の分野を中心として、国際的に活躍することを目指す人

■ 機能材料化学コース

材料化学の領域において、専門知識と実践力を有する高度な専門技術者、および機能性材料の開発を通じて物質イノベーションを引き起こす企業で中心になって活躍できる高度な人材を養成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 化学の基礎学力とともに、専門分野への興味や新しい分野を切り拓く熱意と向上心を持つ人
- ② 機能材料化学分野の高度な専門知識を活かして、物質の存在原理を解き、構成を把握し、特性評価を行い、高付加価値の物質を創製することで、材料創成科学の発展への貢献を目指す人
- ③ 機能材料化学分野の高度な専門知識を修得し、活用することで多面的に物事を考え、地域や社会に貢献することを目指す人
- ④ 機能材料化学分野の技術交流に取り組み、国際的に活躍することを目指す人

■ 機械工学コース

機械工学分野の専門技術と知識を身につけた高度な専門技術者、及び実践的な知識を身につけ、科学的思考力と洞察力を産業界で発揮できる人材を養成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 数学の基礎学力と機械工学における専門的知識を持つ人
- ② 機械工学分野の高度な専門知識を活かして、自ら問題の解決に臨むことを目指す人
- ③ 機械工学分野の高度な専門知識を修得し、ものづくりを通して社会に貢献しようとする人
- ④ 機械工学分野の技術交流により国際的に貢献することを目指す人

■ 電気電子工学コース

電気工学及び電子工学の領域において、高度な専門的知識・能力を有し、企業で中心になって活躍できる高度な人材を養成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 電気電子工学分野に関する基礎学力及び基礎知識を持つ人
- ② 電気電子工学分野に関する課題発見・解決能力を養うために必要な思考力・創造力・判断力を持つ人
- ③ 研究者倫理を身につけ、電気電子工学分野における連携研究に積極的に取り組める人
- ④ 電気電子工学分野の専門知識を背景に、異分野にも関心をもち、社会貢献や国際交流にも意欲的な人

■ 都市基盤工学コース

都市基盤の維持管理、防災・減災、都市環境の諸問題について、先端的・実践的な専門知識を身につけた高度な専門技術者、及び専門分野の枠を超えて幅広い教養と広範な視野を持ち、自立的に地域や社会に貢献する意欲を持った人材を養成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 都市基盤整備のための高度な専門知識を活用し、現象の把握並びに工学的観点からの的確な判断ができることを目指す人
- ② 都市基盤整備のための高度な専門技術と背景にある知識を修得し、独創的かつ合理的な発想力と表現力を鍛錬したい人
- ③ 都市基盤整備のための高度な専門知識を修得し、ものづくりを通して社会に貢献することを目指す人
- ④ 都市基盤工学関連分野において、地域発展あるいは国際的に貢献することを目指す人

■ 建築環境デザインコース

建築・都市空間のデザイン、建築環境等の諸問題について、先端的・実践的な専門知識を身につけた高度な専門技術者、及び専門分野の枠を超えて幅広い教養と広範な視野を持ち、自立的に地域や社会に貢献する意欲を持った人材を養成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 建築・都市デザインのための高度な専門知識を活用し、現象の把握並びに工学的観点からの的確な判断ができることを目指す人
- ② 建築・都市デザインのための高度な専門技術と背景にある知識を修得し、独創的かつ合理的な発想力と表現力を鍛錬したい人
- ③ 建築・都市デザインのための高度な専門知識を修得し、ものづくりを通して社会に貢献することを目指す人
- ④ 建築・都市デザイン関連分野において、地域発展あるいは国際的に貢献することを目指す人

【2】入学者選抜の基本方針

理工学研究科の教育・研究理念に基づき、教育目的・教育目標・教育方針に沿った人材を育成するために、開放性、客観性、公平性を旨とした多様な入試方法と多面的な評価方法により入学者を受け入れます。

一般入試

入学の機会を広く保障するために、大学院受験資格を有する全ての者を対象とした一般入試を行います。本入試では、大学院で学ぶために必要な基礎学力及び専門分野の専門的知識を有しているかを、外国語と専門科目の筆記試験及び成績証明書等によって評価します。また、各分野・コースに対する明確な志望動機や入学後の研究意欲等を有しているかを、面接試験によって評価します。

推薦入試

学士課程教育において優れた成績を修めた者を対象として、研究者及び技術者としての資質や能力、志望分野への研究意欲や熱意を重点的に評価する推薦入試を行います。大学院で学ぶために必要な基礎学力、専門分野の専門的知識及び研究遂行能力等を有しているかを、口頭試問、推薦書及び成績証明書によって評価します。また、各分野・コースに対する明確な志望動機や入学後の研究意欲等を有しているかを、面接試験及び推薦書によって評価します。

ＡＯ入試

一般入試の成績だけでは評価困難である特徴的な資質や能力、志望分野への研究意欲や熱意を重点的に評価するＡＯ入試を行います。大学院で学ぶために必要な基礎学力、専門分野の専門的知識及び研究遂行能力等を有しているかを、適性検査及び成績証明書によって評価します。また、各分野・コースに対する明確な志望動機や入学後の研究意欲等を有しているかを、適性検査及び志望理由書によって評価します。

社会人特別入試

急速な進展と多様化・高度化が進む科学技術の発展に貢献する高度な専門技術者・研究者の育成を主な目的として、社会経験を有する人々を積極的に受け入れる社会人特別入試を行います。本入試では、志望分野の専門的知識及び研究遂行能力等を有しているかを、口頭試問、研究業績書、推薦書（任意）及び成績証明書によって評価します。また、各分野・コースに対する明確な志望動機や入学後の研究意欲等を有しているかを、面接試験、研究計画書及び推薦書（任意）によって評価します。

外国人留学生特別入試

グローバル化が進む現代社会の中で、我が国や母国等において志望分野を中心に国際的に活躍することを目指す外国人留学生を積極的に受け入れるために、外国人留学生入試を行います。本入試では大学院で学ぶために必要な基礎学力及び専門分野の専門的知識を有しているかを、外国語と専門科目の筆記試験、口頭試問、推薦書及び成績証明書によって評価します。また、専門分野での学習及び研究を遂行するための能力や資質を有しているかを、口頭試問と推薦書によって評価します。さらに、各分野・コースに対する明確な志望動機や入学後の研究意欲等を有しているかを、面接試験及び推薦書によって評価します。

理工学研究科（博士前期課程）で学ぶために必要な能力や適性等とその評価方法

観点	入学後に必要な能力や適性等	評価方法	入試方法	対象コース
知識・理解・思考・判断	大学院で学ぶために必要な汎用的な基礎学力及び専門的な知識	専門科目の筆記試験と英語外部検定試験のスコアによって、専門分野で学ぶために必要な基礎学力を評価します。	一般入試	全コース
		専門科目の筆記試験によって、基礎学力及び専門分野の専門的知識を評価します。	外国人留学生特別入試	物理学コース 知能情報工学コース 機械工学コース 電気電子工学コース
		専門科目の口述試験によって、基礎学力及び専門分野の専門的知識を評価します。	外国人留学生特別入試	数学コース データサイエンスコース 機能材料化学コース 都市基盤工学コース 建築環境デザインコース
		成績証明書によって、最終出身学校での学業成績、学習態度を評価します。	一般入試 推薦入試 AO入試 社会人特別入試 外国人留学生特別入試	全コース
		推薦書によって、在学中の成績順位や現在の評価、将来性等を参考にします。	推薦入試	全コース
		推薦書によって、推薦の理由を参考にします。	社会人特別入試(任意) 外国人留学生特別入試	全コース
	専門分野における学習能力や研究遂行能力	口頭試問によって、専門分野での学習及び研究を遂行するための能力や資質を評価します。	推薦入試 社会人特別入試	全コース
		適性検査及び成績証明書によって、専門分野での学習及び研究を遂行するための能力や資質を評価します。	AO入試	全コース
		研究計画書によって、これまでの研究概要と入学後の研究計画を評価します。	推薦入試	都市基盤工学コース 建築環境デザインコース
			社会人特別入試	全コース
		研究業績書によって、これまでの研究実績及び研究内容を評価します。	社会人特別入試	全コース
		推薦書によって、推薦の理由を参考にします。	社会人特別入試(任意) 外国人留学生特別入試	全コース
興味・関心・態度・意欲	志望分野・コースで学ぶための明確な志望動機や入学後の意欲	面接試験によって、志望分野・コースで学ぶ動機、意欲等を評価します。	一般入試	全コース
		面接試験と推薦書によって、志望分野・コースで学ぶ動機、意欲等を評価します。	推薦入試 社会人特別入試(推薦書任意) 外国人留学生特別入試	全コース
		適性検査及び志望理由書によって、志望分野・コースで学ぶ動機、意欲等を評価します。	AO入試	全コース

Ⅱ AO 入試

1 趣旨

広く有能な人材を募集し、優れた研究者及び技術者を育成するため、さらに他大学等からの学生受入れによる学生交流を促進する目的で、理工学研究科博士前期課程に AO 入試制度を設けています。

2 募集人員

理工学専攻	コース		募集人員	教育研究分野
	数理・情報分野	データサイエンスコース	若干人	Ⅵ 教育研究分野等 (目次参照)
		知能情報工学コース	若干人	
	機能材料化学コース		若干人	理工学研究科の「主な研究分野」に掲げる 各コースの全ての研究分野
	建築環境デザインコース		若干人	

(注) 数理・情報分野は、入学後それぞれのコースに分かれます。

3 出願資格

合格した場合は、確実に入学できる者で、次のいずれかに該当する者としてします。

- (1) 大学を卒業した者及び 2026 年 3 月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第 104 条第 7 項の規定により学士の学位を授与された者及び 2026 年 3 月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2026 年 3 月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2026 年 3 月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国に大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び 2026 年 3 月までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び 2026 年 3 月までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び 2026 年 3 月までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号）
- (9) 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により他の大学院に入学した者であって、当該者をその後に入学させる大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者〔次頁の（注 2）を

参照してください。]

- (10) 学校教育法第 83 条に定める大学に 3 年以上在学した者であって、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認めた者〔下記の（注 2）を参照してください。〕
- (11) 外国において学校教育における 15 年の課程を修了し、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了し、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認めた者〔下記の（注 2）を参照してください。〕
- (12) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認めた者〔下記の（注 2）を参照してください。〕
- (13) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2026 年 3 月 31 日において満 22 歳に達したもの（学校教育法施行規則第 155 条第 1 項第 8 号）〔下記の（注 1）及び（注 2）を参照してください。〕

（注 1）出願資格(13)における個別の入学資格審査とは、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業業者やその他の教育施設の修了者等で大学卒業資格を有していない者について、大学を卒業した者と同等以上の学力があるか審査を行うものです。

（注 2）出願資格(9), (10), (11), (12)及び(13)による出願希望者は、下記事項に留意の上、出願してください。（ただし、③については出願資格(10), (11)及び(12)による出願希望者のみ）

- ① 出願資格に関する事前審査を行いますので、出願を希望する者は、2025 年 10 月 30 日(木)までに学務部入試課へ「出願資格認定申請書（様式院 9－1）」に「入学試験出願資格認定審査調書（様式院 9－2）」及び出願資格認定申請書に記載している提出書類を添付して申し出てください。なお、出願希望者の経歴によっては、その他の書類等を求めることがあります。
- ② 出願資格を有すると認定された者に対し、入学願書の受け付けを行います。
- ③ 出願資格(10), (11)及び(12)による者で、入学試験に合格した者に対しては、2026 年 3 月までに提出された成績証明書等により、入学資格要件（事前に本人に通知します。）を審査します。審査の結果、入学資格要件を満たしていないと認定された者は、入学できません。

4 出願期間

出願の手続きをする前に、研究指導を希望する教員と連絡を取り、入学後の研究内容などについて相談を行ってください。なお、出願時に佐賀大学に在籍していない方は、必ず事前相談してください。

各教員の研究内容等については下記から参照

<https://www.facultysearch.admin.saga-u.ac.jp/>

(1) 2025 年 11 月 12 日(水)～11 月 19 日(水)

- ① 郵送の場合は、「簡易書留」とし、2025 年 11 月 19 日(水) 17 時必着とします。
- ② 持参の場合は、平日の 9 時から 17 時までとします。
- ③ 入試課ウェブサイト (https://www.sao.saga-u.ac.jp/daigakuin/daigakuin_yoko.html) の「出願用封筒」に必要事項を記入し、角形 2 号の封筒に貼付し提出してください。なお、出願用封筒については、学務部入試課においても配布を行っています。

(2) 提出先：佐賀大学学務部入試課

(3) 受験票等の送付

受験票は、試験日の1週間前までに届くように、郵送します。

期日までに受験票が届かない場合は、平日の9時から17時までの間に学務部入試課まで、お問い合わせください。

5 出願書類等（AO入試）

下記の出願書類を入試課ウェブサイト (https://www.sao.saga-u.ac.jp/daigakuin/daigakuin_yoko.html) よりダウンロードして提出してください。

区分	備考
入学検定料 (30,000 円)	本学所定の検定料振込依頼書を使用し、銀行窓口において検定料を納入してください。 次の場合は、 <u>検定料の返還請求ができます</u> ので、必ず手続きをしてください。 ・検定料を振り込んだが、本学に出願書類を提出しなかった場合 ・検定料を振り込み、本学に出願書類を提出したが、受理されなかった場合 ・検定料を誤って二重に振り込んだ場合 なお、返還請求の方法等については、学務部入試課までお問い合わせください。上記の場合以外は、いかなる理由があっても既納の検定料は一切返還しません。
検定料振込証明台紙	上記検定料を納入後、銀行窓口において受領する「C 票 検定料振込証明書」を台紙に貼り付けてください。
入学志願書（様式院1-5） 履歴書 写真票（様式院2-5） 受験票（様式院3-5）	※印以外の所定の欄はすべて記入してください。 写真は上半身、脱帽、正面向きで、出願前3か月以内に撮影したものを所定の欄に貼り付けてください。
成績証明書	最終出身学校の成績証明書を提出してください。（卒業（修了）見込みを含む）
卒業（修了）見込証明書等（注1）	出身大学等作成の卒業（修了）見込み証明書等を提出してください（注2）
志望理由書（様式院6）	本学所定の用紙に記入してください。（800～1,000 字程度） ※これまでの研究概要及び入学後の研究計画も含めて記入してください。
履歴書（様式院8） ※日本国籍を有しない者のみ	本学所定の様式を用いてください。
返信用封筒	受験票を送付しますので、長形3号の封筒の表面に受取人の住所、氏名、郵便番号を明記し、「受験票在中」と朱書きの上、110 円分の切手を貼り付けてください。
住所届（様式院10）	本学所定の住所届に必要事項を記入してください。
在留資格を証明する書類	○日本国籍を有しない者で、現に日本国内に在住しているときは、「在留カード」または市区町村長の発行する「外国人登録証」の表裏両面をコピーしたものを提出してください。（市区町村長の発行する「外国人登録原票記載事項証明書」の提出でも可） ○出願時に日本国内に在住していない者は、パスポートの写し（写真及び在留資格・期間の分かるページ）を提出してください。

（注1）合格者について、2026 年 3 月卒業見込みの者（本学出身者を除きます。）は「卒業証明書」を、出願資格(2)にかかる学位取得見込み者は、「学位記」の写し又は「学位授与証明書」を、卒業後又は学位取得後速やかに提出してください。

提出先：佐賀大学学務部入試課 〒840-8502 佐賀県佐賀市本庄町1 番地

（注2）出願資格(2)にかかる者のうち、短期大学の専攻科又は高等専門学校の専攻科等を卒業（修了）見込みの者については、学士の学位の授与申請予定証明書を添付してください。

災害救助法が適用されている地域で被災された佐賀大学志願者への入学検定料の免除について

1) 免除の対象となる者

佐賀大学の学部又は大学院に入学を志願する者のうち、災害救助法（昭和 22 年法律第 118 号）が適用されている地域で被災し、次のいずれかに該当する者

(ア) 災害により、主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流出の被害を受けた者

(イ) 災害により、主たる家計支持者が死亡した者

2) 対象となる入学試験及び措置内容

災害が発生した後に実施する学部入試（編入学を含む）及び大学院入試に係る入学検定料を全額免除（入試成績の開示請求に係る成績通知手数料は除く。）する。

3) 免除の対象となる期間

上記2)の入学試験は当該災害が発生した年度及び翌年度までの2年間に実施予定のものとする。

4) 申請方法

申請予定者は、電話による事前審査を行いますので、出願を行う前に本学学務部入試課にご連絡の上、次の申請書類を入学者選抜試験の出願書類とともに提出してください。

(ア) 検定料免除申請書本学ホームページ「[受験生の方へ→大学院入試→募集要項](#)」からダウンロードできます。

(イ) 被災証明書又は被害証明書（上記1）(ア)に該当する者）

(ウ) 死亡を証明する書類（上記1）(イ)に該当する者）

出願後に免除の対象となった者には、出願年度に限り入学検定料の返還を行いますので、本学学務部入試課までご連絡ください。

6 入試方法

入学者の選抜は、専攻する専門分野の内容等について適性検査を行い、成績証明書及び志望理由書等を総合して判定します。

7 配点等

入試方法等 分野・コース	適性検査（注）	総合評価
全分野・コース	100	良／可／不可

（注）成績証明書等は、適性検査の資料とする。

8 試験日程等

(1) 集合日時・場所

受験者は、受験票とともに送付される受験案内に記載されている適性検査試験室等に、試験開始30分前までに入室してください。

(2) 試験日時

2025年12月24日(水) 適性検査 10:00～

●適性検査の内容について

分野・コース	内容
数理・情報分野 （データサイエンス コース 知能情報工学コース）	口頭試問及び面接 口頭試問では、これまでの研究概要（卒業見込みの場合は卒業研究の進捗状況）及び入学後の研究計画について各受験者が10分程度で説明し、その後に質疑応答を行う。

	※説明の方法は自由。プロジェクター，ホワイトボードもしくは黒板，書画カメラは本学で準備する。ノートパソコン等は持参すること。
機能材料化学コース	プレゼンテーション（口頭試問及び面接を含む） これまでの研究内容のプレゼンテーションを行う。 1人あたりプレゼンテーション3分程度，質疑応答5分程度とする。 ※プレゼンテーション方法は自由。プロジェクターは本学で準備する。 ノートパソコン等は持参すること。
建築環境デザインコース	プレゼンテーション（口頭試問及び面接を含む） これまでの研究内容及び研究計画のプレゼンテーションを行う。 1人あたりプレゼンテーション10分程度，質疑応答15分程度とする。 口頭試問・面接では，英語での質疑応答を含む。 ※プレゼンテーション方法は自由。プロジェクターは本学で準備する。 ノートパソコン等は持参すること。

9 合格者発表

2026年1月15日（木）10時

本学ウェブサイト（<https://www.saga-u.ac.jp/>）に合格者の受験番号を掲載するほか，合格者には本学所定の合格通知書をもって通知します。

なお，電話による可否に関する問い合わせには一切応じかねますのでご了承ください。

10 ASEAN と日本の共発展を目指す T 型高度人材育成プログラム（EPAT）について

機能材料化学コース，機械工学分野，電気電子工学コース，都市基盤工学コース及び建築環境デザインコースでは，2023年10月1日より，エネルギー・環境・健康科学分野に深い専門知識と研究開発能力を縦軸に有し，併せて企業的視野と AI・データサイエンスの知識を両翼にもつ T 字型高度人材を育成するために，「ASEAN と日本の共発展を目指す T 型高度人材育成プログラム（EPAT）」を開設しました。このプログラムでは日本人学生と外国人留学生が共学し，すべての教育研究指導が英語で行なわれます。

本プログラムを履修できる日本人学生の受入人員は 3 名で，日本人の合格者を対象に希望者を募り選抜します。

外国人留学生に対しては，本プログラム用の入試を別途実施します。

11 AI・データサイエンス高度人材の領域横断的育成プログラム（IEPAD）について

データサイエンスコース，知能情報工学コース，機能材料化学コース，機械工学分野，電気電子工学コース，都市基盤工学コース及び建築環境デザインコースでは，2025年10月1日より，AI やデータサイエンスによる技術革新で世界を牽引し，日本やアジア諸国の国際競争力を高めることのできる，広い専門知識とグローバルな素養を有する高度人材を育成するために，「AI・データサイエンス高度人材の領域横断的育成プログラム（IEPAD）」を開設しました。このプログラムでは日本人学生と外国人留学生が共学し，すべての教育研究指導が英語で行なわれます。

本プログラムを履修できる日本人学生の受入人員は 2 名で，日本人の合格者を対象に希望者を募り選抜します。

外国人留学生に対しては，本プログラム用の入試を別途実施します。

Ⅲ 社会人特別入試

1 趣旨

科学技術の進歩，社会の複雑化のなかで社会人の学修希望が高まり，再教育に対するニーズが高まっています。

本学大学院においては，大学卒業後，社会経験を経た人を受け入れて，大学学部より高度の研究活動を行い，開かれた大学院として社会に役立つ研究と技術開発の推進を図り，あわせて，生涯教育に寄与しようとするものです。

この選抜により入学した者に対しては，大学院設置基準第 14 条に定める教育方法の特例による教育を実施しています。<15 ページ参照>

2 募集人員

理工学専攻	分野・コース		募集人員	教育研究分野
	数理・情報分野	データサイエンスコース	若干人	Ⅵ 教育研究分野等 (目次参照) 理工学研究科の「主な研究分野」に掲げる各コースの全ての研究分野
		知能情報工学コース	若干人	
	機能材料化学コース		若干人	
	建築環境デザインコース		若干人	

(注) 数理・情報分野は，入学後それぞれのコースに分かれます。

3 出願資格

次のいずれかに該当する者で，2 年以上（入学する月（4 月）の前までの間）官公庁，企業又は教育機関等の現業に従事している者又は従事した者としします。

なお，合格者のうち「2 年以上」という要件を入学する月の前で満たした者については，入学時にその旨の証明書を提出してください。その時点でこの要件を満たしていないことが判明した場合は入学を取り消します。

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 学校教育法第 104 条第 7 項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において，学校教育における 16 年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者
- (5) 我が国において，外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について，当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において，修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により，学士の学位に相当する学位を授与された者及び 2026 年 3 月までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号）
- (9) 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により他の大学院に入学した者であって、当該者をその後に入学者とする大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者〔下記の（注 2）を参照してください。〕
- (10) 学校教育法第 83 条に定める大学に 3 年以上在学した者であって、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認めた者〔下記の（注 2）を参照してください。〕
- (11) 外国において学校教育における 15 年の課程を修了し、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了し、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認めた者〔下記の（注 2）を参照してください。〕
- (12) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認めた者〔下記の（注 2）を参照してください。〕
- (13) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2026 年 3 月 31 日において満 22 歳に達したもの（学校教育法施行規則第 155 条第 1 項第 8 号）〔下記の（注 1）及び（注 2）を参照してください。〕
- （注 1）出願資格(13)における個別の入学資格審査とは、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業生やその他の教育施設の修了者等で大学卒業資格を有していない者について、大学を卒業した者と同等以上の学力があるか審査を行うものです。
- （注 2）出願資格(9), (10), (11), (12)及び(13)による出願希望者は、下記事項に留意の上、出願してください。
- ① 出願資格に関する事前審査を行いますので、出願を希望する者は、2025 年 10 月 30 日（木）までに学務部入試課へ「出願資格認定申請書（様式院 9－1）」に「入学試験出願資格認定審査調書（様式院 9－2）」及び出願資格認定申請書に記載している提出書類を添付して申し出てください。なお、出願希望者の経歴によっては、その他の書類等を求めることがあります。
 - ② 出願資格を有すると認定された者に対し、入学願書の受付を行います。

4 出願期間

出願の手続きをする前に、研究指導を希望する教員と連絡を取り、入学後の研究内容などについて相談を行ってください。なお、出願時に佐賀大学に在籍していない方は、必ず事前相談してください。

各教員の研究内容等については下記から参照

<https://www.facultysearch.admin.saga-u.ac.jp/>

(1) 出願期間：2025 年 11 月 12 日（水）～11 月 19 日（水）

- ① 郵送の場合は、「簡易書留」とし、2025 年 11 月 19 日（水）17 時必着とします。
- ② 持参の場合は、平日の 9 時から 17 時までとします。
- ③ 入試課ウェブサイト (https://www.sao.saga-u.ac.jp/daigakuin/daigakuin_yoko.html) の「出願用封筒」に必要事項を記入し、角形 2 号の封筒に貼付し提出してください。なお、出願用封筒については、学務部入試課においても配布を行っています。

(2) 提出先：佐賀大学学務部入試課

(3) 受験票等の送付

受験票は、試験日の 1 週間前までに届くように、郵送します。

期日までに受験票が届かない場合は、平日の 9 時から 17 時までの間に学務部入試課まで、お問い合わせください。

5 出願書類等（社会人特別入試）

下記の出願書類を入試課ウェブサイト（https://www.sao.saga-u.ac.jp/daigakuin/daigakuin_yoko.html）よりダウンロードして提出してください。

区分	備考
入学検定料（30,000 円）	本学所定の検定料振込依頼書を使用し、銀行窓口において検定料を納入してください。 次の場合は、<u>検定料の返還請求ができます</u>ので、必ず手続きをしてください。 ・検定料を振り込んだが、本学に出願書類を提出しなかった場合 ・検定料を振り込み、本学に出願書類を提出したが、受理されなかった場合 ・検定料を誤って二重に振り込んだ場合 なお、返還請求の方法等については、学務部入試課までお問い合わせください。上記の場合以外は、いかなる理由があっても既納の検定料は一切返還しません。
検定料振込証明台紙	上記検定料を納入後、銀行窓口において受領する「C 票 検定料振込証明書」を台紙に貼り付けてください。
入学志願票（様式院 1－3） 履歴書 写真票（様式院 2－3） 受験票（様式院 3－3）	※印以外の所定の欄はすべて記入してください。 写真は上半身、脱帽、正面向きで、出願前 3 か月以内に撮影したものを所定の欄に貼り付けてください。
成績証明書	最終出身学校の成績証明書を提出してください。
卒業（修了）証明書等	最終出身学校の卒業（修了）証明書等を提出してください。
研究計画書（様式院 7－1）	本学所定の用紙に大学院における自己の希望する研究内容（1,000 字以内）を記入してください。
研究業績書（様式院 7－2）	本学所定の用紙に研究論文、技術報告書、特許、実用新案、卒業研究報告書等本人の業績又は業務内容を示すものを提出してください。
出願承認書（様式院 5）	本学所定の用紙を用いてください。
推薦書（様式は任意）	勤務先所属長又は従事した勤務先所属長が推薦し、厳封したものを提出してください。ただし、任意提出とします。
返信用封筒	受験票を送付しますので、長形 3 号の封筒の表面に受取人の住所、氏名、郵便番号を明記し、「受験票在中」と朱書きの上、110 円分の切手を貼り付けてください。
住所届（様式院 10）	本学所定の住所届に必要事項を記入してください。
在留資格を証明する書類	○日本国籍を有しない者で、現に日本国内に在住しているときは、「在留カード」又は市区町村長の発行する「外国人登録証」の表裏両面をコピーしたものを提出してください。（市区町村長の発行する「外国人登録原票記載事項証明書」の提出でも可） ○出願時に日本国内に在住していない者は、パスポートの写し（写真及び在留資格・期間の分かるページ）を提出してください。

災害救助法が適用されている地域で被災された佐賀大学志願者への入学検定料の免除について

1) 免除の対象となる者

佐賀大学の学部又は大学院に入学を志願する者のうち、災害救助法（昭和 22 年法律第 118 号）が適用されている地域で被災し、次のいずれかに該当する者

（ア）災害により、主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流出の被害を受けた者

(イ) 災害により、主たる家計支持者が死亡した者

2) 対象となる入学試験及び措置内容

災害が発生した後に実施する学部入試（編入学を含む）及び大学院入試に係る入学検定料を全額免除（入試成績の開示請求に係る成績通知手数料は除く。）する。

3) 免除の対象となる期間

上記2)の入学試験は当該災害が発生した年度及び翌年度までの2年間に実施予定のものとする。

4) 申請方法

申請予定者は、電話による事前審査を行いますので、出願を行う前に本学学務部入試課にご連絡の上、次の申請書類を入学者選抜試験の出願書類とともに提出してください。

(ア) 検定料免除申請書本学ホームページ「[受験生の方へ→大学院入試→募集要項](#)」からダウンロードできます。

(イ) り災証明書又は被害証明書（上記1）(ア)に該当する者）

(ウ) 死亡を証明する書類（上記1）(イ)に該当する者）

出願後に免除の対象となった者には、出願年度に限り入学検定料の返還を行いますので、本学学務部入試課までご連絡ください。

6 入試方法

入学者の選抜は、口述試験のほか、提出された研究業績書、修学したい研究課題・専攻する専門分野の内容等についても面接試験を行い、学力、面接、成績証明書及び研究業績書等を総合して判定します。

7 配点等

入試方法等 分野・コース	口述試験	面接（注）	総合評価
全分野・コース	100	100	良／可／不可

（注）成績証明書等は、面接の資料とする。

8 試験日時等

(1) 集合時間・集合場所（受験票を必ず持参してください。）

受験者は、受験票とともに送付される受験案内に記載されている面接控室に、試験開始 30 分前までに入室してください。

(2) 学力試験等日程

2025 年 12 月 24 日（水） 口述試験及び面接 10：00～

9 合格者発表

2026 年 1 月 15 日(木)10 時

本学ウェブサイト（<https://www.saga-u.ac.jp/>）に合格者の受験番号を掲載するほか、合格者には本学所定の合格通知書をもって通知します。

なお、電話による可否に関する問い合わせには一切応じかねますのでご了承ください。

10 大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例による教育の実施について

近年、大学院における社会人技術者、研究者等の再教育への要望は高まっていますが、通常の方法のみで大学院教育を実施した場合、社会人は最低2年間その勤務を離れて修学することが必要となるため、大学院教育を受ける機会が制約されがちです。

このため、大学院設置基準第14条では、「博士前期課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合は、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」旨規定されて、社会人等の修学に配慮がなされています。

本学大学院理工学研究科では、大学院での履修を希望する社会人技術者等に対し、同条に定める教育方法の特例による教育を実施しています。

この概要は、次のとおりです。

- (1) 2年のうち最初の1年間はフルタイムの通学をすることを原則とし、課程修了に必要な30単位のうち20単位以上は通常の授業時間帯における履修によって修得します。
- (2) 特例の授業時間帯は、夜間の1時限（18時00分～19時30分）とし、当該授業の履修によって修得した単位のうち10単位までを課程修了に必要な単位数に含めることができます。
- (3) 学生には、年度始めに2年間にわたる開講計画を予告し、指導教員の指導のもとに2年間を見通した履修計画を立てさせます。

IV 入学手続等

1 入学手続

入学手続はオンラインにより行います。

入学手続きの方法等については、合格通知書を送付する際に手続きに関するお知らせを同封しますので、必ず確認してください。

入学手続きの方法等については、合格通知書を送付する際にお知らせします。

手続期間：2026年3月22日（日）～3月27日（金）

※期間内に入学手続をしなかった者は、入学辞退者とします。

2 納入金

入学金：282,000 円（入学手続時に納入してください。）

授業料：267,900 円（前期・後期）〔年間 535,800 円〕

※この金額は、2025 年 4 月現在のものです。

（留意事項）

- (1) 入学時又は在学時に納入金の改定が行われた場合には、改定後の入学金及び授業料を納入していただくことになります。なお、合格通知送付の際、納入方法等改めてお知らせします。
- (2) 授業料は、入学手続時に納入する必要はありません。納入予定期間は、下記のとおりです。（入学後に付与される学籍番号が必要となります。）

【2026 年 4 月入学】入学式～5 月 31 日

- (3) 納入された入学金は、いかなる理由があっても返還しません。
- (4) 入学金の免除及び徴収猶予ならびに授業料の免除については、合格者に送付する関係書類を熟読の上、学生生活課に申し出てください。なお、入学金免除及び徴収猶予の申請をした者で、入学を辞退する場合は入学金の全額を納付してください。

3 奨学金

学業優秀で、経済的な理由により修学が困難な学生のみなさんのために奨学金制度が準備されています。

①日本学生支援機構奨学金

- ・第一種奨学金（無利子）

貸与月額 50,000 円又は 88,000 円

- ・授業料後払い制度（無利子）

授業料支援金 上限額 年間 535,800 円

生活費奨学金 貸与月額 20,000 円又は 40,000 円

- ・第二種奨学金（有利子）

貸与月額 50,000 円、80,000 円、100,000 円、130,000 円、150,000 円から選択

②その他の奨学金

この他に地方公共団体及び民間育英団体等の奨学金制度があります。詳しくは、次の問い合わせ先にお尋ねください。

奨学金に対する問い合わせ先

〒840-8502 佐賀市本庄町 1 番地 佐賀大学学務部学生生活課 奨学金主担当

TEL：0952-28-8172

4 教育職員免許状

取得できる専修免許状は、別表（23 ページ）「取得できる教育職員免許状」のとおりです。

ただし、専修免許状の所要資格を得ようとする場合は、取得しようとする専修免許状（中学校教諭及び高等学校教諭の専修免許状については、その免許教科）の一種免許状を有することが必要です。

5 安全保障輸出管理

佐賀大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「国立大学法人佐賀大学安全保障輸出管理規程」「国立大学法人佐賀大学安全保障輸出管理実施細則」を定め、輸出管理を行っています。規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合があります。

また、外国人留学生を通じた技術・貨物の流出を防止する目的で、受け入れる外国人留学生に対して、入学時に誓約書の署名・提出をお願いしています。

<https://www.irdc.saga-u.ac.jp/foreignstudent/securityexportcontrol/>

6 障がい等のある志願者との事前相談

障がい等のある志願者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする方は、本学ホームページ「[受験生の方へ→大学院入試→募集要項](#)」から「障がい等のある志願者による事前相談申請書」をダウンロードし、必要事項を記入の上、以下の書類を添えて学務部入試課に送付し相談してください。

なお、本学では、ウェルビーイング創造センター学修支援部門を設置して、障がい等のある学生及び障がい等のある入学志願者への支援を行っています。

*添付書類

- 医師の診断書

*相談の期限

出願開始日の 1 週間前

なお、相談の内容によっては、本学の試験までに対応できず、配慮を希望される措置が講じられない場合がありますので、可能な限り早めに相談してください。

また、期限後に不慮の事故等により受験上及び修学上の配慮を希望する場合は、その時点で速やかに相談してください。

*受験上の配慮の一例

- 試験時間の延長
- 1 階又はエレベーターが利用可能な試験室で受験
- 多目的トイレに近い試験室で受験
- 座席を最前列／最後列／出入口付近等に指定
- 別室の設定
- 補聴器又は人工内耳の装用
- 特製机・椅子の持参使用
- 車椅子の持参使用
- 杖の持参使用
- 拡大文字問題冊子の配付
- 注意事項等の文書による伝達
- 試験場への乗用車での入構
- 試験室入口までの付添者の同伴

7 出願上の留意事項

- (1) 入学志願票の記入事項及び書類等の不備のものは受け付けません。
- (2) 出願書類受理後は、いかなる理由があっても記入事項及び書類の変更は認めません。また、既納の入学検定料は一切返還しません。

V 入学志願票等の記入上の注意及び記入例

- 1 入学志願票等の記入は、募集要項を熟読の上記入してください。
- 2 ※印欄は、記入しないでください。
- 3 入学志願票・受験票・写真票に希望する入学年月を記入してください。

(記入例)

「志望研究科、専攻、分野・コース」の欄

志望研究科、専攻、 分野・コース	コード (第4表 参照)		
理工学 研究科	4	3	
理工学 専攻	I	B	
物理学 分野・ コース			
分野			

- 研究科、専攻、分野またはコースを記入してください。
- コードは(第4表)を参照し、1コマずつ正確に記入してください。
-
- 数理・情報分野志望者は分野名を記入し、別枠で志望コースを記入してください。第2志望まで記入できます

「氏名」欄

- 漢字等氏名
常用漢字で記入してください。(JIS 漢字コードの第1・第2水準以外の文字を含む場合、その文字が置き換えられます。)

【置き換えられる文字の例】

高 → 高 崎 → 崎 桑 → 桑
土 → 土 吉 → 吉 原 → 原

「性別」及び「生年月日」の欄

性別		生 年 月 日							
男	女	西暦 年				月		日	
✓		2	0	0	3	0	9	1	7

- 性別は、該当する個所に✓を入れてください。
- 生年月日で、月及び日が1ケタの場合は右づめとし、1コマ目は「0」を記入してください。

「出身県等」、「留学生」及び「出身学校等」の欄

出身県等	留学生	選抜種別	出身学校等									
第1表 参照	国・地域 第2表参照		第3表 参照	卒業年月等								
				西暦	年	月						
4	1		1	3	3	2	0	2	6	0	3	

- 出身県等は、(第1表)により、コード番号を1コマ1ケタずつ正確に記入してください。
- 留学生は、(第2表)により、コード番号を1コマ1ケタずつ正確に記入してください。
- 出身学校等は、(第3表)により、コード番号を1コマ1ケタずつ正確に記入し、卒業年月等(見込みを含みます。)を西暦で記入してください。

「現住所及び連絡先等」の欄

●本学から出願書類等について連絡する場合もあるので、正確に記入してください。

なお、メールアドレスについては、大学のメールアドレス【例：学籍番号@・・・】ではなく個人のメールアドレスを記入してください。

出願後、この欄に変更があった場合は電話連絡するとともに、ハガキ等でもお知らせください。

「住所届」

●合格通知書は、これに記載された現住所に送付するので、正確に記入してください。

なお、出願後、住所に変更があった場合は電話連絡するとともに、メール等でもお知らせください。

(連絡先) 佐賀大学学務部入試課

(第1表) 都道府県コード

北海道	01	埼玉県	11	岐阜県	21	鳥取県	31	佐賀県	41
青森県	02	千葉県	12	静岡県	22	島根県	32	長崎県	42
岩手県	03	東京都	13	愛知県	23	岡山県	33	熊本県	43
宮城県	04	神奈川県	14	三重県	24	広島県	34	大分県	44
秋田県	05	新潟県	15	滋賀県	25	山口県	35	宮崎県	45
山形県	06	富山県	16	京都府	26	徳島県	36	鹿児島県	46
福島県	07	石川県	17	大阪府	27	香川県	37	沖縄県	47
茨城県	08	福井県	18	兵庫県	28	愛媛県	38		
栃木県	09	山梨県	19	奈良県	29	高知県	39		
群馬県	10	長野県	20	和歌山県	30	福岡県	40	外国	99

(第2表) 国・地域コード

パキスタン	101	大韓民国	113	イラン	201	ウガンダ	312	オランダ	710
インド	102	モンゴル	114	トルコ	202	エチオピア	320	ドイツ	711
ネパール	103	ベトナム	115	シリア・アラブ共和国	204	オーストラリア	401	フランス	712
バングラデシュ	104	中華人民共和国	116	バーレーン	215	ニュージーランド	402	スペイン	713
スリランカ	105	カンボジア	117	エジプト	301	カナダ	501	イタリア	715
ミャンマー	106	ブータン	118	スーダン	302	アメリカ合衆国	502	ポーランド	721
タイ	107	ラオス	119	リビア	303	ドミニカ	607	チェコ	722
マレーシア	108	ブルネイ	120	ケニア	307	ブラジル	608	ハンガリー	723
シンガポール	109	マカオ	121	タンザニア	308	ホンジュラス	618	ブルガリア	726
インドネシア	110	台湾	122	コンゴ	309	パナマ	619	スロバキア	732
フィリピン	111	朝鮮民主主義人民共和国		ナイジェリア	310	イギリス	707	ウズベキスタン	734
香港	112		191	ガーナ	311	ルクセンブルク	709	その他	801

(第3表) 出身学校等

佐賀大学（文化教育学部，教育学研究科）	31	大学（国内）	22	高等専門学校専攻科	24
佐賀大学（経済学部，経済学研究科）	32	大学（国外）	23	短期大学専攻科	25
佐賀大学（理工学部，工学系研究科，理工学研究科）	33			個別審査	26
佐賀大学（農学部，農学研究科）	34			専修学校	27
佐賀大学（医学部，医学系研究科）	35			その他	29
佐賀大学（教育学部，学校教育学研究科）	36				
佐賀大学（芸術地域デザイン学部，地域デザイン研究科）	37				
佐賀大学（先進健康科学研究科）	38				

(第4表) 研究科，専攻，コース・専修コード

研究科コード		分野・コース・専修コード		
理工学研究科 (博士前期課程)	43	数理・情報分野	数学コース	IK
			データサイエンスコース	
			知能情報工学コース	
		物理学コース		IB
		機能材料化学コース		IE
		機械工学コース		IL
		電気電子工学コース		IH
		都市基盤工学コース		II
		建築環境デザインコース		IJ

VI 教育研究分野等

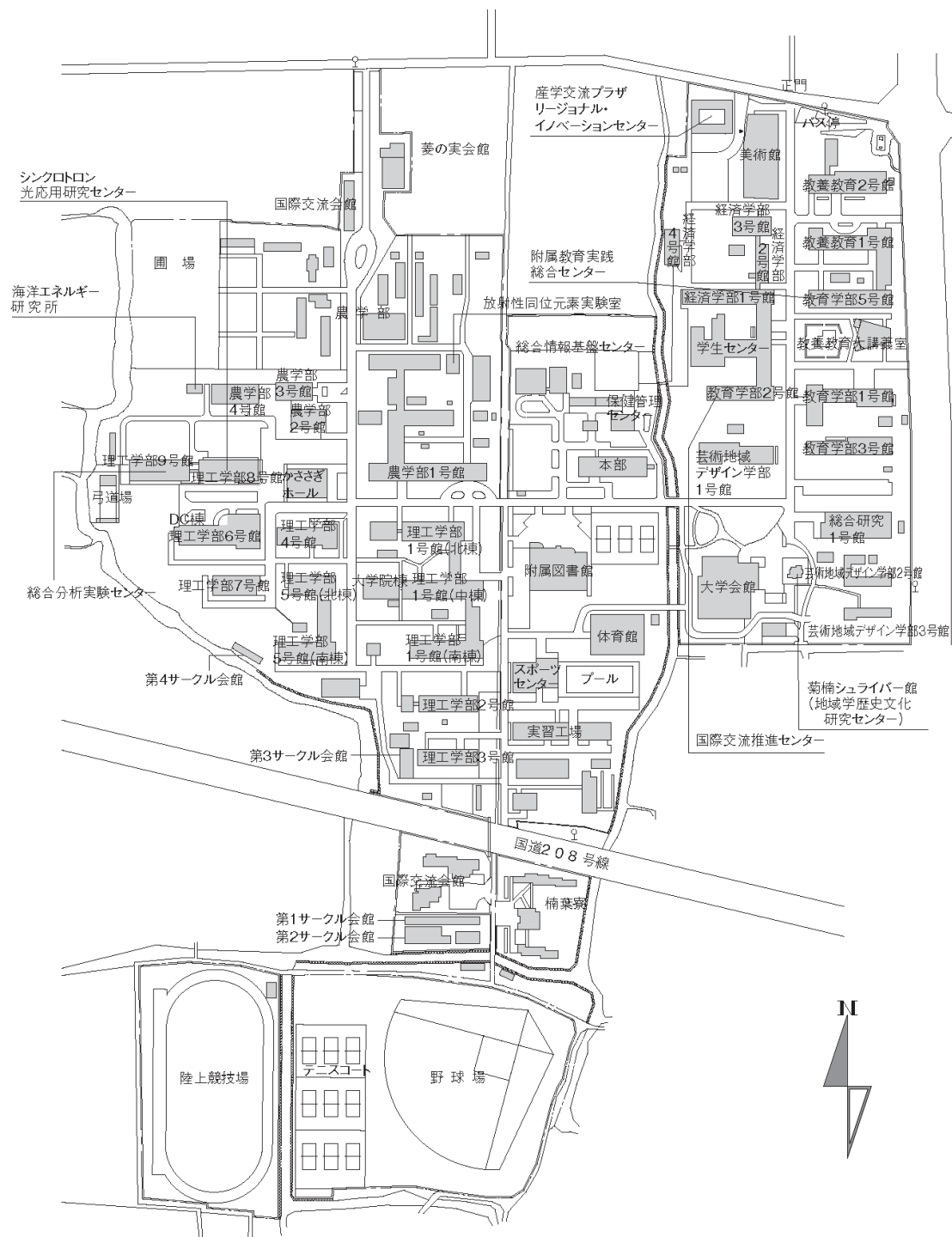
コース	主な研究分野
数学コース	環論，数論，代数幾何学，微分幾何学，リーマン多様体論，位相幾何学，変分法，常微分方程式論，偏微分方程式論，関数解析学，確率過程論，確率解析学
データサイエンスコース	情報理論，符号・暗号理論，情報セキュリティ，数値計算法，数値解析学，画像解析，音声・画像処理，深層学習，機械学習，データマイニング，確率論，解析学，幾何学，代数学
知能情報工学コース	情報理論，符号・暗号理論，情報セキュリティ，数値解析学，複雑系の科学，創発システム，進化的最適化手法，人工知能，データベース，ソフトウェア工学，情報システム，ニューラルネットワーク，情報ネットワーク学，マルチメディア，ユビキタス・コンピューティング，インターネット，知的教育システム，多次元逆問題，パターン情報認識/理解，コンピュータビジョン，オブジェクト指向，遠隔教育，音声/画像処理，衛星リモートセンシング
物理学コース	素粒子理論，場の理論，宇宙物理学，弦理論，天体核物理学，ハドロン物理学，高エネルギー物理学，放射線物理学，電子波物理学，量子光学，固体物性実験，極限環境物性実験，半導体・超伝導体実験，物質・材料物理学
機能材料化学コース	光学活性金属錯体の構築と物性，セラミック発光体・多孔体の開発，セラミックスのナノ構造制御，セラミックス系リチウムイオン電池用電極材料の開発，環境に優しい有機合成反応の開発，有機フッ素化合物の合成と利用，光で動く有機機能性化合物の開発，有機凝集系の構造・物性，高分子コロイドの構造と物性，有機光電子材料の開発と応用，生物電気化学法によるエネルギー生産とセンシングシステムの開発，無機炭素材料の開発と応用，機能物質を活用した金属資源の回収と有害元素の除去，分離材料やプロセスの開発，ナノ・メゾ粒子の液相合成と応用，水圏・土壌圏での物質動態研究
機械工学コース	環境流動学，流体エネルギー開発工学，流体機器開発工学，熱工学，自然エネルギー利用工学，熱力学，伝熱工学，熱移動工学，熱エネルギー変換工学，海洋エネルギー開発工学，海洋エネルギー変換工学，海洋エネルギー機器開発工学，海洋流体力学，海洋工学，海洋エネルギー利用工学，材料力学，材料強度学，機械材料，新素材，計算力学，CAE，有限要素法，構造解析，トライボロジー，塑性力学，金属疲労，先端複合材料，機械設計工学，機械要素工学，表面工学，精密計測，精密加工，生産加工学，工作機械，歯車工学，CAD・CAM，ロボット機構設計・計測技術，ソフトコンピューティング
電気電子工学コース	回路設計，集積回路，エレクトロニクス実装技術，ユビキタスネットワーク，ワイヤレス通信，マイクロ波集積回路，マイクロ波エネルギーハーベスト，多機能平面アンテナ，マイクロ波機能回路，RF 送受信モジュール，シンクロトロン光応用，超高速時間分解計測，光電子分光，表面界面ダイナミクス，機能性薄膜生成，高密度プラズマ，プラズマ環境応用工学，熱電材料，放電プラズマ焼結，半導体結晶，半導体薄膜成長と物性評価，発光デバイス，太陽電池，半導体ナノテクノロジー，次世代半導体プロセス技術，パワー電子デバイス，ワイドギャップ半導体，放電応用技術，パルスパワー工学，ネットワーク，インターネット，計算力学，グラフィカル・ユーザ・インターフェース，ニューラルネットワーク，自己組織化システム，人工知能，スマートシステム，画像計測，遠隔計測
都市基盤工学コース	構造解析，耐震工学，建設材料，コンクリート構造，地盤工学，地盤動力学，環境地盤工学，応用水理，河川工学，水環境システム，水資源管理，システム分析，都市デザイン，交通システム，地域情報，都市社会学，都市防災，都市計画
建築環境デザインコース	構造解析，耐震工学，建設材料，コンクリート構造，システム分析，都市デザイン，建築デザイン，建築・都市史，建築環境工学，交通システム，建築計画，地域情報，都市社会学，都市防災，都市計画

VII 取得できる教育職員免許

コース	取得できる専修免許状	
	種 類	教 科
数学コース	中学校教諭専修免許状	数学
	高等学校教諭専修免許状	数学
データサイエンスコース	中学校教諭専修免許状	数学
	高等学校教諭専修免許状	数学, 情報
知能情報工学コース	高等学校教諭専修免許状	情報
物理学コース	中学校教諭専修免許状	理科
	高等学校教諭専修免許状	理科
機能材料化学コース	中学校教諭専修免許状	理科
	高等学校教諭専修免許状	理科
機械工学コース	高等学校教諭専修免許状	工業
電気電子工学コース	高等学校教諭専修免許状	工業
都市基盤工学コース	高等学校教諭専修免許状	工業
建築環境デザインコース	高等学校教諭専修免許状	工業

VIII 佐賀大学建物配置図及び佐賀大学アクセスマップ

佐賀大学（本庄キャンパス）建物配置図



佐賀大学アクセスマップ



佐賀大学本庄キャンパス

佐賀駅バスセンターからバスで約15分
「4番のりば」から市営バス4番 佐賀女子短大・高校行、市営バス11番 西与賀行、又は12番 東与賀行、63番 佐賀女子短大・高校前行で「佐賀大学前」下車

佐賀大学鍋島キャンパス

佐賀駅バスセンターからバスで約25分
「2番のりば」から市営バス50番、又は51番で「佐賀大学病院」下車



佐賀大学有田キャンパス

JR佐世保線有田駅下車…徒歩15分
波佐見有田インターチェンジから車で5分



SAGA UNIVERSITY
国立大学法人佐賀大学

お問合せ先

佐賀大学 学務部入試課

〒840-8502 佐賀市本庄町1番地 TEL.0952-28-8178

✉ contact@mail.admin.saga-u.ac.jp

https://www.saga-u.ac.jp

Address

- 本庄キャンパス：〒840-8502 佐賀市本庄町1番地
- 鍋島キャンパス：〒849-8501 佐賀市鍋島5丁目1-1
- 有田キャンパス：〒844-0013 西松浦郡有田町大野乙2441-1

佐賀大学



受験生応援サイト



チャンネル佐賀大学



佐賀大Press



佐賀大学 学務部 入試課

〒840-8502 佐賀県佐賀市本庄町1番地

TEL 0952-28-8178

ホームページ <https://www.saga-u.ac.jp>

e-mail contact@mail.admin.saga-u.ac.jp

